

発行日：2021年9月3日

## 品質性能試験概要報告書



Jfp株式会社 技術開発センター  
福岡県大野城市乙金東2-2-1



コンクリート平板に施工された壁面固定用ジャストフィット  
ピンのせん断引張り試験

〔試験名称〕

コンクリート平板に施工された壁面固定用ジャストフィットピンの  
せん断試験

## 目次

1, 試験の内容 .....	1
2, 試験体.....	1
3, 試験方法 .....	3
4, 試験結果.....	4
5, 期間、制作担当者及び場所.....	7

## 1, 試験の内容

外壁補修工法「J f p 工法」に使用する壁面固定用のジャストフィットピンについて、せん断引張試験を行った。

## 2, 試験体

試験体に施工した工法名、ピンの種類、ピンの直径、ピンの材質、接着剤、施工数量を表1に示す。

表1 試験体概要

工法名称	外壁補修工法「J f p 工法」		
接着剤の種類	建築補修用エポキシ樹脂 (JIS A6024 適合品)		
母材	名称	コンクリート	
	寸法	100mm×100mm×90mm	
	穿孔径	φ 4mm	φ 6mm
	穿孔深さ	30mm	30mm
壁面固定用ピン	商品名	ジャストフィットピン	
	材質	SUS304 (JIS G4305)	
	形状	φ 3mm×50mm	φ 5mm×70mm
	数量	5本	5本

表2 施工手順及び施工状況

J f p工法

- ①コンクリート平板（100×100×90mm）の表面にJf-20（ミストエア低騒音ドリル）及び専用ダイヤモンドビット（φ6mm、φ4mm）を用いて、コンクリート平板の所定深さ30mmまで孔を開けた。
  - ②孔内部の乾燥として約3時間静置した。
  - ③接着剤注入ガンにPA注入機を取り付けて建築補修用エポキシ樹脂を注入後、ピンを挿入し、3日間静置した。
- ピンの施工手順を写真1～写真5に示す。



写真1 穿孔

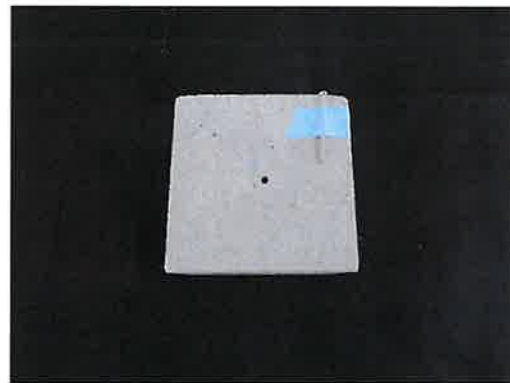


写真2 孔の状況

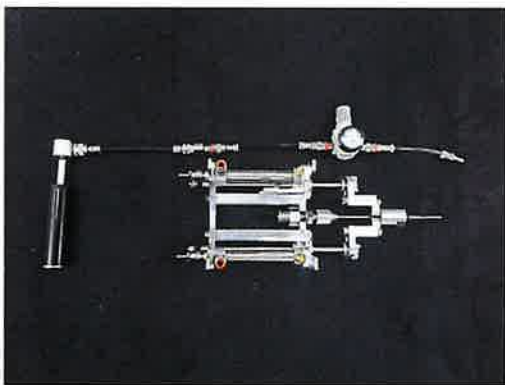


写真3 PA注入機



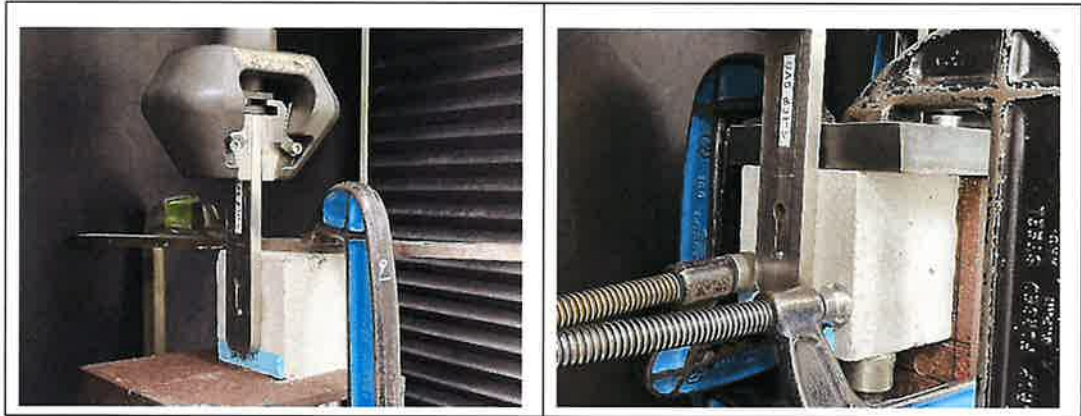
写真4 接着剤注入



### 3, 試験方法

試験は 100kN 万能試験機（建材試験センター西日本試験場 機材）を用いて、せん断試験用ジグを介して試験体にせん断力を加え、最大荷重を求めた。なお、載荷速度は 1mm/min とした。  
試験状況を写真 6 に示す。

写真 6 試験状況



#### 4, 試験結果

試験結果を表3に示す。試験後の状況を写真8及び写真9に示す。

表3 セン断引張り試験結果

壁面固定用ピン		番号	最大荷重 kN	破壊状況
商品名	形状			
ジャストフィットピン	φ 3mm × 50mm	1	3.16	胴体部破断
		2	3.04	胴体部破断
		3	3.07	胴体部破断
		4	3.08	胴体部破断
		5	3.03	胴体部破断
		平均	3.08	
	φ 5mm × 70mm	1	7.55	胴体部破断
		2	6.69	胴体部破断
		3	7.34	胴体部破断
		4	7.54	胴体部破断
		5	7.16	胴体部破断
		平均	7.26	

写真8 試験後状況 (φ3mm ジャストフィットピン)

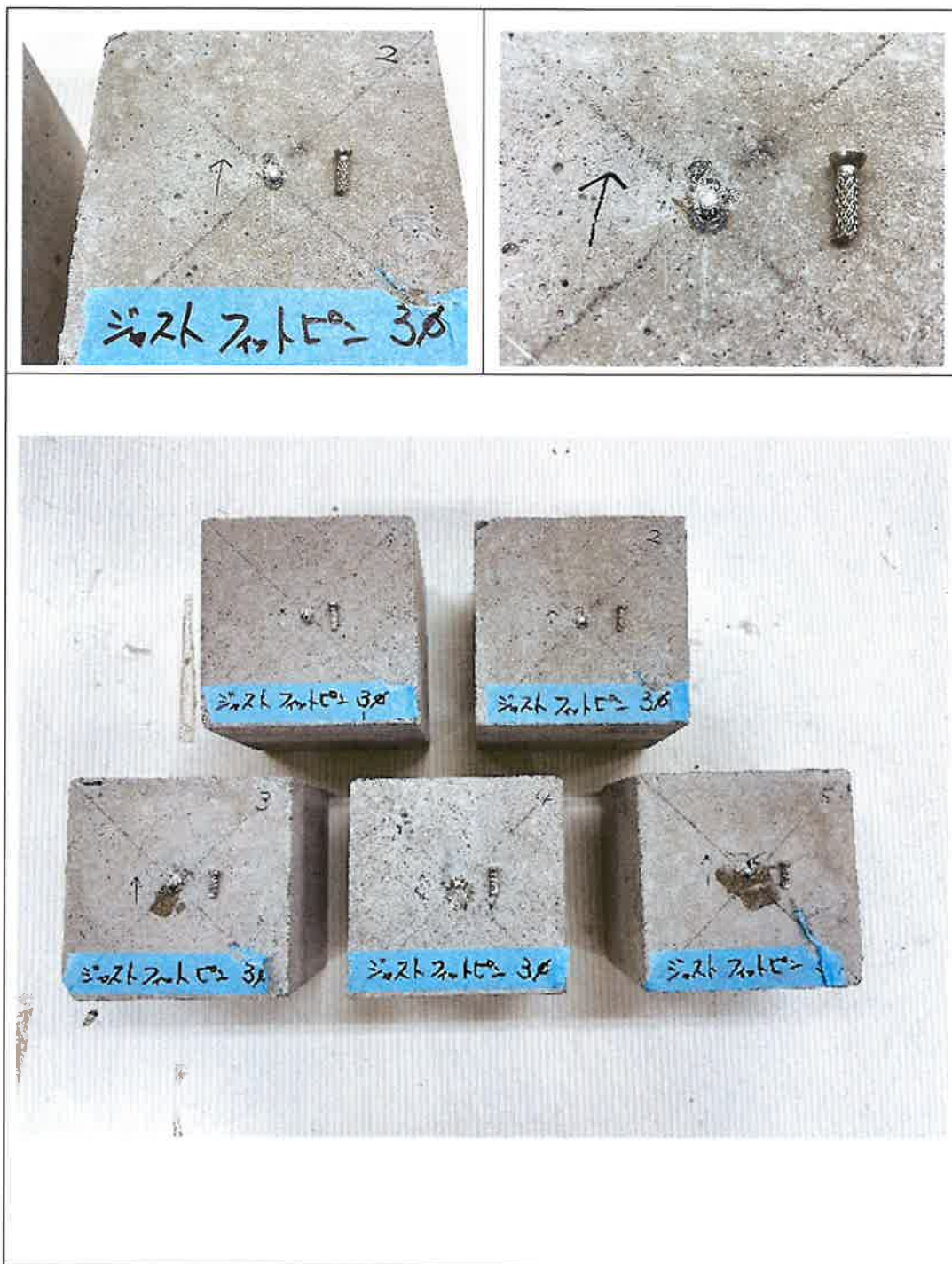
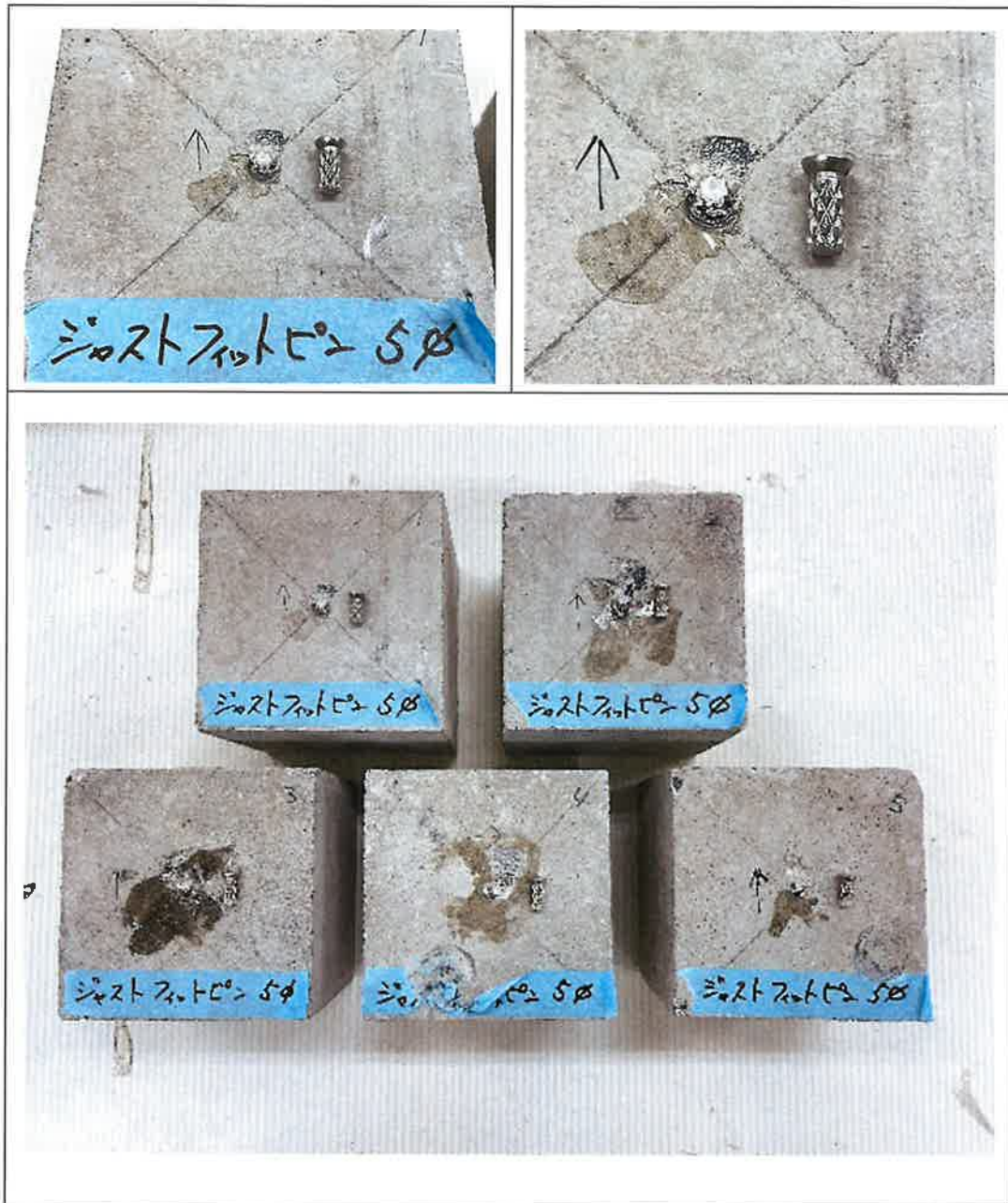




写真9 試験後状況 (φ5mm ジャストフィットピン)



尚、一般財団法人 建材試験センターの品質性能試験報告書については、  
「発行番号：第 21C0252 号」を参照



5, 期間、制作担当者及び場所

期 間 令和3年7月22日から  
令和3年7月30日まで

制作担当者 技術開発部 部長 入江展親  
製造課 課長 高野剛(担当)  
古賀悟

試験体制作場所 J f p株式会社  
技術開発センター (福岡県大野城市乙金東2-21-1)

試験場所 一般医団法人 建材試験センター  
西日本試験所 (山口県山陽小野田市大字山川)

以上